

令和4年度 脇町高等学校 SSH 生徒発表及び授業研究会 実施要項

1 目 的

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業において、課題研究に取り組むための基盤となる資質・能力を SW-ingSLC として定義し、全教科・科目で、その修得を目指した授業を実践している。今回、それらの授業改善の取組や生徒発表の成果を広く公開し、その普及を図る。

2 実施日 令和4年9月22日（木）8:45～16:35

3 実施方法 ZOOM を用いたリモート配信

4 当日日程

時間	内容	備考
8:00～	接続開始	8:30 より学校長あいさつ
8:45～ 9:35	研究授業 物理 【2年生】	
9:50～10:40	研究授業 美術Ⅱ 【2年生】	
10:55～11:45	研究授業 現代文 【3年生】	
12:00～12:45	生徒発表	
12:45～13:40	昼食	
13:40～14:40	研究協議	教科ごとで実施
15:00～16:30	講演会	質疑応答含む

5 参加者 本校 SSH 運営指導委員 徳島県教育委員会 中学・高校の教職員 等

6 内 容

研究授業 ZOOM 配信

科目・テーマ	物理「円運動と単振動」
授業者	杜 穂隆
対象	2年生 23HR (22名)
指導助言者	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 講師 久田旭彦 氏
目指すSW-ingSLC	A：他者と協働する力 D：情報分析力 E：考察・統合力
実験の技術習得とともに、グラフ作成やデータ処理によって、数学で学習する三角関数と関連させながら、円運動と単振動の運動を解析させ、理解を促す。	

科目・テーマ	美術Ⅱ「想像上の生物を作る」
授業者	井上 奈美
対象	2年生 22HR
指導助言者	徳島県立総合教育センター 企画総務課 指導主事 岩佐宜之 氏
目指すSW-ingSLC	D：情報分析力 E：考察・統合力
提示されたテーマについて各自で情報を集め、共有して整理・分析し、自分が考えたデザインを再考し、改善する。様々なアイデアを発想する力、自分の考えだけでなく他者等から集めた情報も取り入れつつ、よりよい作品になるよう考える力を育成する。	

科目・テーマ	現代文B「技術の変質と21世紀の課題（加藤尚武）／高瀬舟（森鷗外）」
授業者	坂本 淳
対象	3年生 32HR (38名)
指導助言者	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教授 幾田伸司 氏
目指すSW-ingSLC	A 他者と協働する力 E 考察・統合力 F 構成・表現力
他者と協働しながら、根拠に基づき、設定した課題を解決する学習を通して、筆者の主張や人物の心情を表現に即して読み取り、主題に対する問いを設定し、その問いに対する自分の考えを論理的に考える中で起こる倫理的ジレンマを深く考えられるよう促す。	

研究協議 ZOOM 配信

各研究授業の研究協議を、ZOOM を用いて行います。研究授業の参観を申し込まれた方に、ID やパスワードを送らせていただきます。当日は、ブレイクアウトルームによる小グループの意見交換も予定しております。

生徒発表 ZOOM 配信 (3 作品)

本校では、SSH 設定科目「探究科学 I・II」で自然科学・情報科学、「SW-ing リサーチ」で地域活性化や SDGs、「探究部」で社会イノベーションなど、自身のコースなどに応じて全校生徒が課題研究に取り組んでいます。今回は、その中から 3 作品の成果を発表します。

講演会 ZOOM 配信

講師：吉田 大作 氏
京都芸術大学クロステックデザインコース 准教授
株式会社クロステック・マネジメント 取締役

演題：「探究的な学び」を中核とした授業改善に向けて

内容：

「総合的な探究の時間」のみならず、複数の教科で「探究」「総合」の名のつく新設科目が設定された今、「探究的な学び」を中核に据えることで、学習者の学びをいかに活性化できるのか、各教科・科目の授業改善とのつながりも意識しながら、ご講演いただきます。

7 参加申込み

別紙様式により 9 月 16 日(金)までに電子メールにてお申し込みください。前日までにお申し込みいただいた方に、「当日の ZOOM の ID 及びパスワード等をお送りします。

問い合わせ・申込先

徳島県立脇町高等学校 SSH プロジェクトチーム

FAX : 0883-53-9875

TEL : 0883-52-2208

Mail : ookubo_kunihiro_1@mt.tokushima-ec.ed.jp

担当者：大久保 邦博